



2015年 新風

新潟市の鳥に制定された「ハクチョウ」 撮影者：佐々木徹雄氏

にいつホサト ステーション

2015. 1
vol.766



毎月1回発行

発行所 / 新潟商工会議所
編集発行人 / 田村 一夫
〒956-0864
新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email: n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/

今月号の紙面

- ・役員・議員・振興委員
- ・紙上名刺交換
- ・各種団体
- ・新春賀詞交歓会案内



経営に関するご相談を受け付けています



昨年6月のにいつ花ふるフェスタ、
にいつ食の陣当日座(場所 新潟県立植物園)



セミナー開催

明けましておめでとうございます。
昨年中は会員ならびに関係各機関・団体、地域の皆様方から、多大なご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。



新年のご挨拶

新潟商工会議所会頭

古川 賢一

さて、我が国の経済状況は、全体としてみれば回復基調を辿っているとは言っても、その足取りは緩やかであり、ここにかけて、各種の経済指標は力強さを欠いている状況にあります。とりわけ地方及び中小企業においては、経済の好循環の恩恵を未だ実感できない企業が多いのが実情であります。

足下の新潟地域の経済状況についてもその例外ではありません。当会議所が実施した直近の景況調査ならびに聴き取り調査では、一部で堅調さを窺わせる事業所もみられますが、全般的な業況をはじめ売上高や採算などが芳しくないという事例が多数認められています。

こうした中で、昨年末には衆院解散・総選挙が行われました。結果は、これまでの政権が一定の信任を得ることとなりましたが、引き続き地方や中小企業が経済の回復を真に実感できるよう、隅々にまで目配りをした経済運営を切に期待したいところです。

活動の一例を挙げれば、国道四〇三号線の整備促進や地域商店街の再生など個別の地域・企業では乗り越えることが困難な課題について意見をとりまとめ、行政官庁等へ提言し、政策に反映させることのほか、経営指導員を中心に会員各企業との面談、交流の機会を増やす中で、相互の関係を深めながら様々なニーズを把握し、金融や情報化支援、各種相談事業等を推進してまいります。

このほか、地域の観光拠点や施設等の魅力を最大限発揮できるような触媒の機能も担い、地域を盛り上げていく取組みにも積極的に関わってまいります。

当新潟地域は、鉄道、花卉、里山、石油など、豊かな素材や資源に恵まれています。さらに、来年にはJR新津駅東口に新潟薬科大学が新たな建物及び学科を設けることにより、地域に多様な効果をもたらすことが期待されております。

一方、都会や大企業に妬心し、国を恃(たの)むだけでなく、今年は、地方・地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生するための戦略づくりを主体的に進める必要に迫られる年となりそうです。人口急減や超高齢化社会等の課題を踏まえて、どのような地方・地域になりたいのか、どのように地域の活性化を進めていくのかなど、将来をも見据えたあるべき姿を地域自身が真摯に考えていく必要があります。

こうした地域の素材等や強みを「点」の魅力のみで終わらせるのではなく、点と点を結ぶ「線」上にストーリー性をもたせてその魅力を増大させ、さらにいくつもの線を紡ぎ出す中で、全体としての魅力を最大限に高められるよう、精一杯知恵と汗を出してまいります。

今年も当会議所の活動に対し、ぜひとも皆様方のお力添えをお願いいたします。

終わりに、会員の皆様方、地域の皆様方の益々のご活躍とご多幸をお祈りいたしまして新年のご挨拶と致します。